



カブドットコム証券株式会社
(コード番号：8703 東証1部)
代表執行役社長 齋藤 正勝

2006年9月26日

三菱UFJ証券株式会社

(コード番号:8615 東証1部)
カブドットコム証券株式会社
代表執行役社長 齋藤 正勝
(コード番号:8703 東証1部)

三菱UFJ証券株式会社およびカブドットコム証券株式会社の
業務提携範囲の拡大について

→ [新規公開株/公募・売出](#)
→ [申込み手順](#) / → [購入の流れ](#)

三菱UFJ証券株式会社およびカブドットコム証券株式会社は、従来、株式等の引受業務について業務委託契約を結んでいましたが、当該業務の提携範囲の拡大について以下の通り合意いたしました。

記

■業務提携内容の主な変更点

- ・ 三菱UFJ証券がカブドットコム証券に販売委託する株式等の引受業務の対象を、「三菱UFJ証券が主幹事を務める引受株式等に限定」から、「原則、三菱UFJ証券が引き受けるすべての引受株式等」に拡大する。
- ・ カブドットコム証券は株式等の引受業務を原則休止する。

これにより、三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下MUFGグループ）内における株式等の引受機能を三菱UFJ証券に集約することになり、プライマリー業務における両社の役割を明確化し、MUFGグループ内のリソースを効率的に配分することが可能となります。

■業務提携拡大による効果

- ・ 三菱UFJ証券にとっては、総合証券としてのきめ細かい対面コンサルティングに加え、オンラインの利便性を兼ね備えることにより、厚みを増している個人投資家層に対する強力な販売ネットワークを構築でき、ネット専門証券をグループ内に持つ強みを活かすことができます。また、カブドットコム証券のリレーションから持ち込まれる引受案件の獲得も期待できます。
- ・ カブドットコム証券にとっては、総合証券である三菱UFJ証券が引き受ける幅広い案件

の販売業務を行うことにより、株式等のプライマリー案件数の飛躍的な増加が見込まれ、幅広い商品提供が可能になります。これによりお客さまの利便性が更に向上するだけでなく、ネット証券トップクラスの案件数となることが見込まれ、新規公開株式等の提供においても競争力の強化が期待できます。

今後も、三菱UFJ証券とカブドットコム証券は、MUFGグループのお客さまのニーズにより一層お応え出来るようシナジーを発揮していきます。

[ご参考] 平成18年1月から8月までの引受実績件数（払込日ベース）

発行形態	三菱UFJ証券		カブドットコム証券	
	引受件数	うち主幹事	引受件数	うち主幹事
新規公開株式	76	11	5	—
公募・売出し	73	7	—	—
REIT	10	1	—	—
合計	159	19	5	—

